

決算報告

特別会計

目的を特定した事業収入と支出を
区別して経理する会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	60 億 4,031 万円	59 億 8,373 万円
後期高齢者医療	9 億 7,512 万円	9 億 7,461 万円
介護保険	80 億 3,432 万円	80 億 404 万円
工業団地	5,534 万円	5,534 万円
月舘宅地造成事業	1,194 万円	1,194 万円
財産区（11 区）	2,944 万円	2,312 万円

健全化判断比率

5 つの指標から
財政状況を判断

■ 財政状況を表す 5 つの指標

市の財政状況を 5 つの指標で表して公表しています。この指標が基準値を上回る場合、^{*}早期健全化団体、財政再生団体となります。

伊達市は 5 つの指標すべてが「該当なし」または「基準内」であり、健全な財政といえます。

比率名	令和 6 年度	早期健全 化基準	前年度 比較
実質赤字比率	該当なし	12.61%	－
連結実質赤字比率	該当なし	17.61%	－
実質公債費比率	10.9%	25.0%	0.5%
将来負担比率	51.0%	350.0%	▲ 1.8%
資金不足比率	該当なし	20.0%	－

公営企業会計

事業収入で経費をまかなう
独立採算が原則の会計

■ 水道事業

会計名	収入	支出
収益的収支	17 億 8,657 万円	19 億 5,521 万円
資本的収支	1 億 2,328 万円	5 億 567 万円

■ 下水道事業

会計名	収入	支出
収益的収支	7 億 6,743 万円	7 億 4,344 万円
資本的収支	3 億 4,483 万円	6 億 9,524 万円

【用語解説】

- 収益的収支** …1年間の営業活動に係る収入と支出のこと。
- 資本的収支** …施設の整備・拡張など、資産の形成のための収入と支出のこと。
- 実質赤字比率** …一般会計に赤字がどのくらいあるかを表す指標。
- 連結実質赤字比率** …全ての会計で赤字がどのくらいあるかを表す指標。
- 実質公債費比率** …全ての会計で借金返済にあてる経費がどのくらいあるかを、3 年間の平均値で表す指標。
- 将来負担比率** …全ての会計で将来負担が見込まれる経費がどのくらいあるのかを表す指標。
- 資金不足比率** …全ての公営企業会計で資金不足がどのくらいあるのかを表す指標。

※

コラム 早期健全化団体、財政再生団体になると？

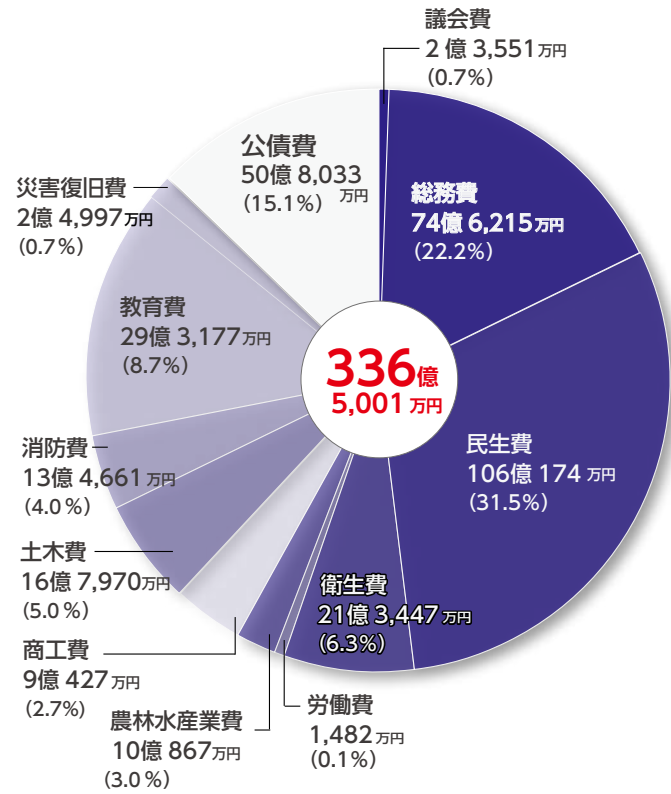
国の監視のもとで財政健全化や財政再生に向けて計画的に取り組まなければならない、事実上、お金の使い方が制限されます。借金が制限され、道路整備などがなかなか進まなくなります。

決算報告

一般会計

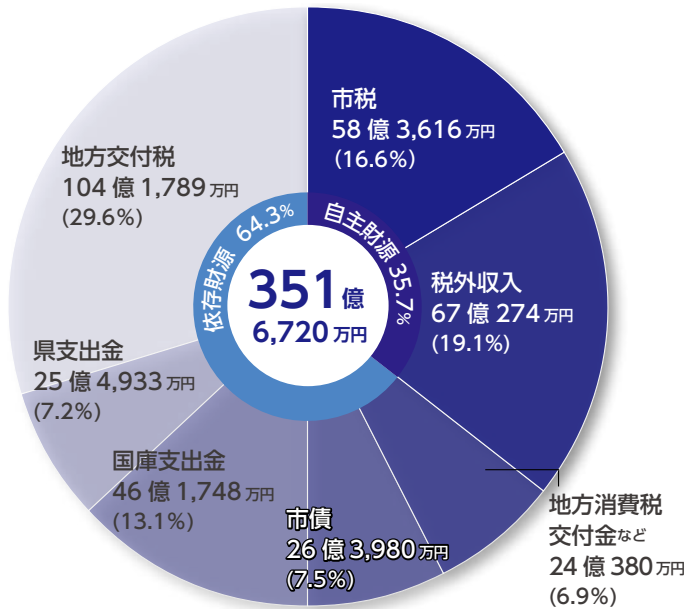
福祉や道路整備など市の行政運営の
基本的な経費を計上した会計

歳出 336 億 5,001 万円



※小数点第 2 位以下は四捨五入

歳入 351 億 6,720 万円



令和 6 年度一般会計

歳入－歳出	15 億 1,719 万円
R7 年度への繰越	6,878 万円
実質収支	14 億 4,841 万円



▲高子北認定こども園

各事業の実施にあたっては、可能な限り有利な財源の確保に努め、自主財源の支出を抑えた予算執行を行いました。また、将来の財政負担に備えて財政調整基金への積み立てを行いました。

令和 6 年度は、地域医療体制を充実させる「地域医療確保対策事業」、就学前保育教育の環境整備としての「高子北認定こども園整備事業」、産地生産基盤を強化するための「農業振興支援事業」、雇用の創出および商工業の振興を図る「企業誘致推進事業」、公園施設の充実および利用促進を図る「保原総合公園施設充実化事業」、市民の利便性および安全を確保する「総合支所庁舎建設事業」などを実施しました。

「人と緑と歴史が結び合う
ひかり輝く田園空間・伊達市」
の実現に向けて

令和 6 年度は、地域医療体制を

充実させる「地域医療確保対策事

業」、就学前保育教育の環境整備

としての「高子北認定こども園整

備事業」、産地生産基盤を強化す

るための「農業振興支援事業」、

雇用の創出および商工業の振興を

図る「企業誘致推進事業」、公園

施設の充実および利用促進を図る

「保原総合公園施設充実化事業」、

市民の利便性および安全を確保す

る「総合支所庁舎建設事業」など

を実施しました。

各事業の実施にあたっては、可

能な限り有利な財源の確保に努

め、自主財源の支出を抑えた予算

執行を行いました。また、将来の

財政負担に備えて財政調整基金へ

の積み立てを行いました。



▲だてふるさとメニュー

令和 6 年度は、エネルギー、食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援をするため、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、給付金の支給をはじめ、地元産食材等を使用した給食「だてふるさとメニュー」の提供、プレミアム付商品券の発行などの事業を実施しました。

物価高騰の影響を受けた
生活者や事業者の支援実施

令和 6 年度一般会計決算は、歳入総額 351 億 6720 万円、歳出総額 336 億 5001 万円となりました。

歳入から歳出を差し引いた額は 15 億 1719 万円、そこから令和 7 年度への繰越分（6878 万円）を差し引いた実質収支は 14 億 4841 万円となりました。

主な使い道 令和 6 年度に行った事業

公共サービス充実のために（総務費）

総合支所庁舎建設事業	4 億 5,223 万円
伊達市公共サイン統一整備事業	6,191 万円

福祉・子育てのために（民生費）

放課後児童健全育成事業	2 億 5,918 万円
高子北認定こども園整備事業	2 億 6,660 万円
出産・子育て応援事業	3,189 万円

健康づくり・環境のために（衛生費）

地域医療確保対策事業	5,799 万円
予防接種事業費	3 億 9,001 万円
検診事業	1 億 1,104 万円
一般廃棄物収集運搬	3 億 3,012 万円

地域の雇用づくりのために（労働費）

雇用促進事業	1,470 万円
--------	----------

農業振興のために（農林水産業費）

農業振興支援事業	2 億 5,685 万円
林業施設維持管理事業	2,848 万円

観光・商工振興のために（商工費）

商工業振興対策事業	2 億 1,322 万円
観光でにぎわう魅力づくり事業	6,462 万円

道路・公園整備のために（土木費）

橋梁維持管理費	7,592 万円
保原総合公園施設充実化事業	1 億 657 万円
市営住宅維持管理費	1 億 344 万円

消防設備充実のために（消防費）

消防施設整備費	1 億 996 万円
---------	------------

学校教育・生涯学習のために（教育費）

特別支援介助員配置事業	1 億 1,602 万円
小中学校教育用コンピュータ整備事業	1 億 5,931 万円
小中学校就学援助事業費	1 億 6,327 万円

災害復旧のために（災害復旧費）

道路橋梁災害復旧費	2,030 万円
営農再開支援事業	4,902 万円
風評被害対策事業（農産物魅力発信事業）	2,883 万円

基金 市の貯金はどのくらい？

基金は、将来の負担を減らし、税収の減少や施設の老朽化などに対応するため、計画的に積み立てと取り崩しを行っています。

基金の額

基金名		令和 6 年度末残高
一般会計	財政調整基金	24 億 3,676 万円
	減債基金	4 億 2,365 万円
	地域創造基金	27 億 8,863 万円
	公共施設維持整備基金	14 億 1,719 万円
	教育施設整備基金	3 億 286 万円
	その他	11 億 9,722 万円
一般会計基金計（A）		85 億 6,631 万円
特別会計基金計（B）		8 億 9,280 万円
合計（A+B）		94 億 5,911 万円

【用語解説】

財政調整基金…災害の発生や経済の急激な悪化などによる
税収減少に備えるもの。

減債基金 …借入金の返済を計画的に行うためのもの。

地域創造基金…地域振興の事業を行うためのもの。

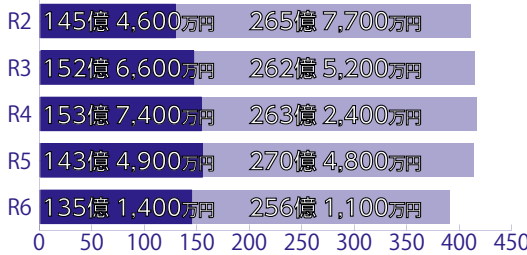
市債 市の借金はどのくらい？

返済金の全部または一部が、後で国から地方交付税として配分される「合併特例債」などを活用しているため、市が自己の財源で返済しなければならない借入金は、全体の 35%程度となっています。

市債の額

会計名	令和 6 年度末残高
一般会計	391 億 2,468 万円
公営企業会計（水道事業）	32 億 6,755 万円
公営企業会計（下水道事業）	59 億 9,214 万円
合計	483 億 8,437 万円

市の借入金（一般会計）の推移



市が自己財源で返済するもの 国が交付税として配分するもの